

【平沼記念体育館】
第四期指定管理者業務評価表

<評価基準>
A(著しく優れている):業務基準・目標水準を遥かに上回っている。
B(適正):業務基準・目標水準を達成できている(※標準点)
C(改善の必要有):業務基準・目標水準に満たない。又は一部未達成。

<コメント・理由欄>
A: 数値・具体的な事項等を記入のこと。当初予定していなかった事業を実施し効果をあげたり、目標を遥かに上回った理由を記入。
B: 目標通り達成できている場合は特にコメント不要。目標と違う方法でも同様の効果が得られた場合はその様に記載。
C: 目標に達しなかった理由や今後の改善策を記載のこと。

基本方針	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	総括コメント	行政評価	総括コメント	外部評価	総括コメント
施設の設置経緯・立地環境・ニーズ等を踏まえつつ、コスト削減を図るとともに、スポーツ関係団体や関係者等との連携を強め、スポーツに日頃から親しんでいる人だけでなく、接する機会を持つことが難しい人、関心の薄い人も含め、子供から高齢者まで、より多くの市民がスポーツに興味と関心を持つことのできる多様な機会と場を提供し、もって「横浜市スポーツ推進計画」の趣旨にのっとり、スポーツ振興に資する施設運営や事業を展開する	「施設の設置目的」、「施設の役割」、「指定管理者制度の目的」、「周辺地域特性」、「横浜市の施策」、「スポーツ推進施策」等を踏まえ、下記の2つの基本方針をもとに事業を展開します。 ・老朽化に負けず、環境に配慮した安全安心な施設運営で、魅力ある施設の創造 ・お客様、地域と共存共栄し「いつでも」「いつまでも」健やかな社会を実現する施設運営の取組み【P.3】		B	・2つの基本方針とそれを踏まえた9つのチャレンジ目標とアクションプランの実施。 ・開館から54年目を迎え老朽化した施設、設備の安全、安心な運営と、稼働率90%以上の維持。 ・市民のスポーツ実施率向上を目指した教室等50事業を実施。 ・市内の公共スポーツ施設で、唯一フットサルやハンドボールの屋内常設コート有する特徴を活かし、県サッカー協会や県ハンドボール協会との連携と種目の普及強化事業への協力。	B	通年で施設・設備の大きな不具合やトラブルがなく、高い稼働率を維持しており、施設と特性を理解した安定した運営を継続して行っている。 教室事業も数多く展開しており、多くの市民がスポーツに触れられる機会の創出に努められている。 残りの期間においてもより、稼働率上昇の余地があるスポーツスタジオや展示室等の利用拡大も含め、より多くの市民がスポーツに興味・関心を持てるような取組を期待したい。	B	記念棟活用に課題が見られた。バラスポーツのさらなる推進を含め、残りの期間で改善を期待したい。 全体としては安定した運営を行っていると評価する。
(1)事業・運営目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
公共性・公平性に基づいた利用の確保	・関係法規、条例等の理解（OJT）の取組【P.12】 ・貸切利用の対応【P.12】 ・優先利用、減免利用の対応【P.12、13】 ・職員研修の実施（人権、公共サービス従事者、反社会的組織対応）【P.14】	・施設運営に必要な関係法規や条例等の理解と適正な運用のためのOJTを実施（R4年度～） ・優先利用を中心とした貸切利用の事前及び当日までの適正な運用と利用者支援の実施（R4年度～） ・人権研修、公共サービス従事者研修、反社会的組織への対応研修の実施（R4年度～）	B	・館長や職員が中心となって施設運営に必要な関連法規、条例等に関するOJTを実施。 ・大会やイベント等の開催や円滑な運営のための連絡調整や提案、サポートを実施。 ・館長や職員が人権研修、接遇研修、反社会的組織対応研修に参加。また、館長が担当となり、全スタッフに年1回以上人権等についての研修を実施。	B	各種OJTや研修が行われており、全スタッフで誰もが平等・公平に利用できる体制を整えるための取組みがみられる。		
多様な利用者への配慮・支援に関する取組	・ユニバーサルデザインの実践（人的サービス、業務的サービス、施設のサービス）【P.15】 ・外国人のお客様に対する取組（翻訳アプリ導入、やさしい日本語の使用）【P.16】 ・障がい者スポーツの取組（パノラマビュー、車いす対応自販機、かながわ障がい者社会参加サポーター登録、障がい者とのスポーツ交流会開催）【P.17～P.18】 ・高齢者向け健康体操教室の開催【P.17、P19】 ・定期教室の受付方法の多様化【P20】	・ユニバーサルデザインに基づいた人的、業務的、施設のサービスを組み合わせ、柔軟で適切な利用者サービスを実施（R4年度～） ・利用者ニーズに合わせて施設内の表示等を日本語、英語、中国語、韓国語表示に、サイン等をユニバーサルデザインで誰にでも分かり易いサイン表示へ変更（R4年度～） ・パノラマビューの施設紹介、車いす対応の自販機設置、かながわ障がい者社会参加サポーター登録の実施（R4年度～） ・高齢者向け教室の実施（R4年度～） ・インターネットを活用した受付やクレジット決済の導入（R4年度～）	B	・館内一部掲示物に漢字のふりがな表記や英語、中国語、韓国語を併記。英語の利用案内等を掲示、館内の掲示物ではビクトグラムやユニバーサルデザインフォントを活用する等、わかりやすさを意識し実施。 ・車いす対応の自販機を設置。かながわ障がい者社会参加サポーター施設として登録。 ・高齢者にも参加できる教室として7教室を実施。 ・事前受付(定期)教室ではインターネットを使った申込やクレジットカード決済を導入。今年度中に教室以外の利用料のキャッシュレス化を導入予定。	B	インクルーシブスポーツのイベントへの協力や情報発信、多言語化に関する取組が行われており障害、国籍等に関わらず誰もが利用しやすい環境づくりへの取組を行えている。 教室以外の利用料のキャッシュレス化についても早期に進めてもらいたい。		
利用者本位のサービス提供	・ご意見、ご要望への対応【P.21】 ・職員のコンシェルジュサービス【P.22】 ・モニタリング【P.22】→自己評価、第三者評価参照 ・接遇研修の実施【P.22～P.23】 ・苦情等の対応のデータベース化【P.23】 ・ワンストップサービス導入【P23】 ・前日、当日の予約代行【P24】 ・セティングサポートの実施【P24】 ・大会やイベントのサポート【P25】 ・Wi-Fiスポットの設置【P25】	・窓口での直接受付に加え、ご意見箱設置、お問合せメール、利用者アンケート、第三者評価の実施（R4年度～） ・職員のスポーツコンシェルジュ対応の実施（R4年度～） ・接遇研修の実施（R4年度～） ・利用者対応データベースの作成、運用（R4年度～） ・ワンストップサービスツールの導入（R4年度～） ・予約システムの適切な運用（R4年度～） ・セティングサポート、大会やイベントのサポートの実施（スポーツコンシェルジュ対応として実施）（R4年度～） ・Wi-Fiスポットの設置（R4年度～）	B	・お客様アンケートを実施し、内容を検討の上、施設運営に適切に反映。 ・接遇研修を年1回以上実施し、利用者支援を実施。 ・利用者対応等職員間での情報共有データベースとして「備忘録」を作成、運用。 ・新予約システムを適正に運用。 ・フリーWi-Fi機器を導入（R5年度～）	B	データベース化された備忘録の作成・運用はスタッフ間での認識の齟齬によるサービス低下を防ぐ取組として、フリーWi-Fiの早期導入はサービス向上の取組として評価できる。		
広報・利用促進活動、記念棟の活用	・インターネットでの情報発信（ホームページのリニューアル、SNSの活用）【P.26】 ・多様な媒体の効果的活用（広報よこはま等）【P.27】 ・情報コーナーの設置【P.28】 ・平沼亮三氏と展示品、展望室の積極的なPR（ホームページ、ロビー展示）【P29～P31】	・ホームページのリニューアル、SNSを活用した情報発信（R4年度～） ・広報よこはま等での広報活動（R4年度～） ・情報コーナーの設置（R4年度～） ・平沼亮三氏と展示品の紹介（R4年度～） ・記念棟の運営（R4年度～）	B	・ホームページをリニューアル（R4年度～） ・横浜スポーツ情報サイト「ハマスポ」や、ホームページ、facebook等を利用したPRを実施。 ・計画的な広報活動の展開では、神奈川・西・保土ヶ谷区の広報区版を利用、また近隣小学校、幼稚園等へのちらし配布、自治会掲示板へのちらし掲出等、多岐に渡る事業の周知を実施。 ・情報コーナーを設置し、スポーツに関する情報を中心に情報提供。主催者と協力した大会情報、館内ポスターの掲示 ・平沼亮三氏とその展示品をロビー及び展示棟で紹介（R4年度～） ・記念棟を開館日の9時～17時で開放。入館の際に受付を行い運営管理を実施。 ・記念棟のギャラリー利用の推進。	B	ホームページのリニューアルに伴う視認性をの向上や様々な媒体を使用した広報活動が行われており、利用促進に向けた取組がみられる。 一方でスポーツスタジオや記念棟・展示室の稼働率に上昇の余地があると見受けられるため、残りの期間では改善に向けた広報活動等の取組を期待したい。	B	

【平沼記念体育館】 第四期指定管理者業務評価表							
スポーツ教室等の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・多種目、多世代への豊富なプログラムの教室事業の実施【P31～P33】 ・健康づくりのための小規模教室の実施【P. 32】 ・オンラインを活用した教室展開【P. 33】 ・近隣施設との連携事業【P. 33】 ・団体連携による専門指導者【P. 34】 ・地域人材の登用【P. 34】 ・レッスン内容のモニタリング、リニューアル【P. 35】 ・外部講師研修、参加者傷害保険加入【P. 36】 ・教室に参加しやすい方法の実施【P. 36】 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室事業の実施（R4年度～） ・会議室（スタジオ）を活用した教室事業の実施（R4年度～） ・自主事業教室の実施（R4年度～） ・近隣施設と連携した事業の実施（R4年度～） ・団体連携による専門指導の提供（R4年度～） ・地域指導者人材の活用（R4年度～） ・教室事業のモニタリングの実施（R4年度～） ・外部講師の研修の実施（R4年度～） ・教室参加者の傷害保険加入（R4年度～） ・当日受付教室と1回お試し体験参加の実施（R4年度～） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現在年間（4期）44教室、イベント時に体験教室等年間6教室、合計50教室を実施。 ・内訳は体育室で年間（4期）20教室、会議室を利用した教室を年間（4期）24教室を実施。イベント時に体験教室を年間6回実施。 ・三ツ沢公園や隣接する県立スポーツ会館と連携し体験教室や指導者向け講習会を実施。 ・バドミントン教室において協会加盟団体より種目指導者を派遣していただき教室指導を実施。その他の教室では地域指導者を活用して教室運営を実施。 ・年1回以上教室参加者アンケートを実施、結果を教室の企画運営に適正に反映。 ・年1回外部講師に対してPMS等の研修を実施。 ・教室参加者の傷害保険加入の実施。 ・当日参加教室を毎週木曜日に年間を通して実施。定期教室では、定員に満たない教室での体験参加（有料）として受入れ。 	B	<p>各所との連携や指導者の派遣などが多く、また、指導者向けの講習・研修も設けるなど、良質な教室事業を展開するための取組がみられる。</p> <p>また、体験教室や当日教室など、市民がスポーツ触れるきっかけづくりがしやすい事業が展開されており評価できる。</p>	<p>おおむね安定して事業・運営目標に関する取組を行っていた。</p> <p>記念棟の活用について、すでにロビーにて一部展示するなど取組は見られるが、利用率も認知度も低いと感じている。</p> <p>展示内容の工夫や展示環境の改善を行うとともに、来場者はもとより、三ツ沢公園の利用者を呼び込むなど、公園内での連携も1つの視野に、PR等進めてほしい。</p>
自主事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間と開館日の拡大【P. 37】 ・基本時間外での教室事業の展開【P. 37】 ・レンタル事業の実施【P. 37】 ・最新型の自販機設置【P. 37】 ・駐車場事業の実施【P. 37】 ・スポーツレクリエーションフェスティバルの実施【P. 38】 ・イベント事業の実施【P. 39】 ・ロビーの活用事業【P. 39】 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間の深夜延長と開館日の拡大（R4年度～） ・基本時間外での教室事業の実施（R4年度～） ・レンタル事業の実施（R4年度～） ・最新型飲料自販機の設置（R4年度～） ・駐車場事業の実施（R4年度～） ・スポーツレクリエーションフェスティバルの実施（R4年度～） ・イベント事業の実施（R4年度～） ・ロビーの活用事業の実施（R4年度～） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・平日と土曜日には基本開館時間外の21時から22時30分まで営業時間の拡大。年末12月29日17時まで営業を実施。 ・基本時間外の深夜時間帯は稼働率がほぼ100%で一般利用のニーズが高く、一般利用の圧迫になるため教室事業は未実施。 ・スポーツ・レクリエーションフェスティバル、三ツ沢公園感謝デーなど近隣施設団体との連携事業を開催。 ・スポーツ用品のレンタルを実施。 ・ロビーにおいて、情報コーナーと平沼亮三氏と展示品の紹介コーナーを設置。市民のためのクールシェアスポットとして活用。 	B	<p>利用者のニーズに応じた基本開館時間外の利用枠の設定やスポーツ用品のレンタル実施など、自主事業についても利用者目線の利便性向上に資する取組がみられる。</p>	
業務履行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の配置【P. 40】 ・安全なスポーツ施設運営のための資格者配置【P. 40】 ・適正な配置ポストと勤務ローテーション【P. 40】 ・適正な就業体制とワークライフバランスへの取組【P. 41】 ・団体本部のバックアップ体制と設備管理の協力会社によるハイレベルな維持管理【P. 42】 ・職員の人材育成、研修の実施【P. 42～P. 43】 ・独自の売上管理システムの構築と安全な現金管理【P. 43～P. 44】 	<ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者の配置（R4年度～） ・常勤職員の救命講習以上の取得 ・適正な職員配置と勤務ローテーション（R4年度～） ・適正な就業体制とより良い就業環境整備（R4年度～） ・団体本部のバックアップ体制の確立と施設設備管理の協力会社との維持管理の実施（R4年度～） ・団体としての人材育成計画作成と研修等の実施（R4年度～） ・団体での売上管理システムの導入、運用（R4年度～） ・団体としての現金管理システムの導入と適正な経理処理の実施（R4年度～） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者として館長、管理担当者と事業担当者の常勤職員を配置。その他コンシェルジュスタッフを配置し、適正な勤務ローテーションで運営。 ・普通救命講習以上の職員配置現状0名、今年度2名取得予定。 ・鹿島建物総合管理株式会社に建物・電気・設備等の保守点検・管理を依頼し、安全安心な管理運営を実施。 ・接遇研修を館長が受講後、全スタッフ向けに研修を実施。 ・独自の売上管理システムを運用、適正な経理処理を実施。 	B	<p>館長及びその他職員など、適切な人員配置がされていたと見受けられる。日々の本市との連絡においても団体本部との連携が取れていた。</p> <p>今後は常勤職員の普通救命講習以上の早期取得を期待したい。</p>	
個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーマークに基づいた個人情報保護体制の構築と運用【P. 45～P. 47】 ・ヨコハマ3R夢プランの取組【P. 47】 ・環境保護への取組【P. 48】 ・人権研修の実施と男女共同参画の推進【P. 48, P. 49】 ・市内中小企業への優先発注【P. 49】 ・SDGsへの取組【P. 49, P. 48】 ・インクルーシブスポーツへの取組【P. 50, P. 51】 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体でのプライバシーマークに基づく個人情報保護体制の構築と運用（R4年度～） ・ゴミの適正処理と減量化、照明のLED化（R4年度～） ・団体での人権研修、ハラスメント研修の実施、各種就業規定の整備（R4年度～） ・条例に則り市内中小企業への優先発注（R4年度～） ・団体としてのSDGsの取組検討、実施（R4年度～） ・インクルーシブスポーツに取組む団体等への支援（R4年度～） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・団体としてプライバシーマークを認定取得し、平沼記念体育館においても「JISQ15001（個人情報保護マネジメントシステム―要求事項）」に適合した個人情報保護体制を構築・運用。 ・市のルート回収に参加し適正なごみの減量化と処理を実施。 ・館長や職員がコンプライアンス研修に参加し、館長が担当となり、全スタッフに年1回以上コンプライアンスについての研修を実施・公益法人会計基準及び横浜市会計経理関係規定等に準じて、経理事務を実施。 ・当協会内部監査（文書管理、労務管理、経理処理、情報ネットワーク等）要綱に基づく監査の定期的な実施、及び、業務の点検及び改善についての提言を受け、業務の適正化・効率化の実現。 ・インクルーシブスポーツの趣旨に則った事業「FMヨコハマ主催ちょうどいい運動会」の開催支援を実施。 	B	<p>コンプライアンス研修の実施や内部監査の実施など、個人情報保護・業務の適正化・効率化のための取組がされている。</p> <p>インクルーシブスポーツの推進にかかる取組は、ノウハウや関係団体との連携などから、現指定管理者の強みだと認識しているため、今後の取組にも期待したい。</p>	
安全管理（平常時及び緊急時の体制）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用形態に即した安全管理業務の実施【P. 71】 ・スポーツ用具等の日常点検の実施【P. 71】 ・熱中症予防対策の取組【P. 72】 ・建物や設備機器等の日常点検→【(2)維持管理目標 メンテナンス】の項目参照 ・職員による巡回点検の実施【P. 72】 ・防犯カメラ、掲示物による安全対策の実施【P. 73】 ・有資格者の配置と研修の実施【P. 73, P. 74】 ・緊急時の対応、神奈川警察署や神奈川消防署と緊密に連携した危機管理体制の確立【P. 74～P. 77】 ・防災訓練の実施【P. 78】 ・補償体制の確立【P. 78～P. 79】 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用形態に合わせた器具、用具等の準備、片付け、運用サポートの実施（R4年度～） ・記念棟の安全な運営（R4年度～） ・教室事業での安全管理、内容のチェック（R4年度～） ・スポーツ用具の日常点検の実施（R4年度～） ・熱中症予防対策の検討、実施（R4年度～） ・建物や設備機器の日常及び定期点検の実施（R4年度～） ・職員の巡回点検の実施（R4年度～） ・防犯カメラの設置と掲示物による安全管理の実施（R4年度～） ・機械警備システムの導入（R4年度～） ・全職員の普通救命講習の受講（R4年度～） ・AED操作訓練の実施（R4年度～） ・団体での危機管理体制の構築（R4年度～） ・防災訓練の実施（R4年度～） ・施設賠償責任保険、スポーツレクリエーション傷害保険の加入（R4年度～） ・団体での地域スポーツ指導者向け補償制度の設立（R4年度～） ・団体での顧問弁護士の確保（R4年度～） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全管理を目的とした各種サポートを実施。 ・記念棟の入場管理による運営 ・指導計画書や報告書による教室内容のチェック。 ・スポーツ器具用具の点検整備 ・熱中症予防対策として、ロビーエアコン、体育室換気扇を利用した熱中症対策と大型気化式冷風扇風機4台をレンタルにて導入。 ・委託会社による適切な建物、設備の定期点検と毎日の職員による巡回点検の実施。 ・防犯カメラの設置。敷地周辺での事件事故案件で警察署への防犯カメラ画像提供。 ・24時間機械警備及び巡回警備を実施。 ・危機管理基本マニュアルに基づき緊急時等対応。全スタッフ研修で確認。 ・団体での各種保険加入や指導者補償制度の運用、顧問弁護士の確保を実施。 	B	<p>委託会社による建物・設備保守や機械警備など、外部機関の導入による安全管理、スタッフによる備品の点検や巡視、緊急時対応の確認・講習など、安全管理に関する基本的な取組が漏れなくみられる。</p> <p>前期や提案になかった新たな取組として、利用者のニーズを踏まえて令和6年度の夏季から大型気化式冷風扇風機を導入するなど、ソフト面だけでなくハード面の熱中症予防対策も行っており、施設をより安全・安心に利用してもらうための取組として評価できる。</p>	

【平沼記念体育館】
第四期指定管理者業務評価表

(2)維持管理目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
メンテナンス及び環境保持・環境配慮	・施設設備維持管理協力会社との連携による適切な維持管理体制の構築【P. 62】 ・整備されたマニュアル【P. 86】 ・職員による日常の施設内巡回点検【P. 63】 ・法定点検と自主的な建物劣化診断の実施【P. 63】 ・定期清掃、特別清掃の実施【P. 64】 ・職員による丁寧な日常清掃【P. 64】 ・感染症拡大防止等への適切な環境衛生の維持管理【P. 65】 → 新型コロナウイルス感染症等への対応を参照 ・近隣住民に配慮した外溝・植栽管理【P. 66】 ・SDGsへの取組【P. 66】 ・省エネ、環境保全に配慮した取組【P. 66】 ・グリーンカーテンの設置、ごみの減量化、光熱水使用量の報告【P. 67】	・鹿島建物総合管理株式会社との連携による施設維持管理の実施（R4年度～） ・団体の「施設維持管理基本マニュアル」を用いたメンテナンスの実施（R4年度～） ・職員による日常巡回点検の実施（R4年度～） ・法定点検と自主点検の実施（R4年度～） ・定期清掃 ・職員による日常清掃の実施（R4年度～） ・日常的な外構の点検清掃と簡易的な植栽管理の実施（R4年度～） ・専門業者による樹木剪定の実施（R4年度～） ・団体としてのSDGsの取組実施（R4年度～） ・照明のLED化（R4年度～） ・ごみの減量化、光熱水の使用量の報告（R4年度～）	B	・施設設備維持管理協力会社との連携による適切な維持管理体制を構築、運用。 ・職員による日常の施設内巡回点検を徹底し、異状の早期発見、事故の未然防止を実現。 ・自主的な建物劣化診断の実施、修繕計画を策定。年間330万円以上の修繕を実施。 ・1日6回程度体育室や更衣室、会議室、記念棟などをルート巡回・点検し、日常点検チェックシートに記録を実施。 ・日常的な外構清掃、草刈・中低木剪定の定期的な実施。必要に応じて専門業者による高木剪定を実施。 ・敷地内の植栽を活用したグリーンカーテンの設置。市のゴミルート回収に参加し減量化を実現。 ・照明の一部LED化を実施 ・ペットボトルキャップ回収し、寄贈。	B	通年で施設・設備の大きな不具合やトラブルがなく、協力会社との連携や自主点検により施設の特性を理解した施設の維持管理が行えていると評価できる。 清掃や植栽管理を日常及び定期的に行い、利用者へのサービス向上や近隣住民・環境配慮に資する適切な取組がみられる。	B	安定した維持管理が行えている。
修繕等への取組	・有資格者による劣化診断と修繕計画の策定【P. 68、P. 69】 ・協力会社と連携した迅速な修繕対応【P. 69】 ・維持管理から修繕にいたる適正な取組【P. 70】	・定期点検の実施と年度ごとの修繕計画の作成、トイレ洋式化、照明LED化、老朽化備品更新（R4年度～） ・協力会社と連携した修繕の実施（R4年度～） ・日常及び定期点検の結果に基づく修繕の実施と適切な業務履行（R4年度～）	B	・施設設備維持管理協力会社との連携による適切な維持管理体制を構築し、定期点検や職員による日常点検の実施。 ・点検結果をもとに修繕の年間計画を作成、年間330万円以上の修繕を実施。	B	通年で施設・設備の大きな不具合やトラブルがなく、計画的に修繕を行っているものと見受けられる。 また、照明のLED化やトイレの洋式化、加えて、提案になかったウォシュレット化なども実施されており、評価できる。 残りの期間でも安心して施設を利用いただけるよう計画的・定期的な点検や修繕を期待したい。		
(3)収支目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
利用料金等収入増への取組	・時間外での利用料金収入 ・スポーツ教室事業での収入 ・自動販売機事業での収入 ・レンタル事業での収入 ・駐車場事業での収入【P. 52～P. 54】	・平日21時から22時30分（1コマ、1時間30分）までと12月29日（9時から17時まで）の開館を実施（R4年度～） ・深夜帯でのスポーツ教室の実施（R4年度～） ・利用者ニーズに応じた自動販売機事業の実施（R4年度～） ・レンタル事業の実施（R4年度～） ・駐車場事業の実施（R4年度～）	B	・コロナ禍の影響でR4年4月1日～9月30日まで基本時間外での営業を休止。同年10月1日より再開。 ・時間外での利用料金は、R4年度¥463千円、R5年度¥1,070千円、となり、目標収入に達していない現状であるが、回復の傾向。 ・深夜帯でのスポーツ教室については、深夜帯の稼働率が90%以上（R4年度89%、R5年度98%）となっている状況から、一般利用の圧迫を避けるため教室実施を見送り。 ・自販機事業については、R4年度1,326千円、R5年度1,647千円となり、収入目標は未達成。 ・レンタル事業は、R4年度¥46千円、R5年度¥73千円となり、収入目標は未達成。 ・駐車場事業は、R4年度¥4,669千円、R5年度¥5,220千円となり、収入目標は未達成。	B	コロナ禍の影響により基本的に金額面での目標は下回っているが、実行されており回復傾向にあるため、引き続き利用者のニーズにあった取組による利用料金等収入の増を期待したい。	B	深夜帯の貸館事業など、ニーズに応じた取り組みが行えているが、収入目標は未達である。 コロナ後のニーズの変化も踏まえ、適切な対応を意識してほしい。
施設の課題等に応じた費用配分	・適切な公共サービスを担う人件費と老朽化に伴う施設設備の維持管理経費を中心とした適切な費用配分【P. 57】 ・適切な自主事業実施による利用サービスの向上【P. 58】 ・計画的な修繕の実施【P. 59】	・適正な維持管理費用の予算計画と執行（R4年度～） ・適正な自主事業の予算計画と執行（R4年度～） ・適切な修繕計画と実施（R4年度～）	B	・老朽化に伴う施設設備の維持管理や修繕について年間計画を策定し計画的な予算配分と執行を実施。 ・利用者ニーズを反映した自主事業計画を策定し効果的な予算配分と執行を実施。	B	課題等を把握し、それに応じた予算の計画・執行や施設設備の維持管理経費などのコストを抑える工夫がみられる。		
適切な委託・調達・雇用	・契約規程に基づき、指名競争入札等により契約【P. 60】 ・高い専門性を有する業務については、公共スポーツ施設の設備管理において大変定評のある業者を施設設備維持管理協力会社として委託【P. 60】 ・委託業務の適正な監督管理、労働関係法令等の遵守【P. 61】 ・横浜市中企業振興条例の趣旨を踏まえた委託、調達の実施【P. 61】 ・近隣地域の方の積極的な雇用	・団体の契約規定に基づく指名競争入札等適正な契約の実施（R4年度～） ・鹿島建物総合管理株式会社との委託契約による各種施設設備保守点検や樹木剪定、保安警備の実施（R4年度～） ・団体の関係要綱による委託業務管理の実施（R4年度～） ・条例を踏まえた市内中小企業を優先した委託や調達の実施（R4年度～） ・コンシェルジュスタッフとして近隣地域の方を採用（R4年度～）	B	・横浜市内に拠点を置く中小企業事業者からの調達を第一に考え、競争入札や見積もり合わせを実施し、委託や消耗品等の調達を実施。 ・電気・消防設備・自動ドア等点検については鹿島建物総合管理株式会社を通じて専門の業者による点検、修繕を実施。 ・地域の方をアルバイト職員として採用。	B	横浜市中企業振興条例の趣旨を踏まえたうえで適切な委託・調達の実施に取り組んでいる。また、地域住民の方々を積極的に雇用するなど、横浜市の地域活性化へ貢献している。		
(4)その他目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
地域支援・地域連携・地域貢献	・地域還元イベントの開催【P. 80】 ・ウォーキングポイントリーダーの設置【P. 81】 ・地域との連携【P. 81】 ・地元住民の方々の雇用【P. 82】 ・三ツ沢公園周辺施設との連携【P. 82】 ・インクルーシブスポーツの推進【P. 83】 ・地域の健康づくりの支援【P. 83】 ・地域指導者の育成【P. 83】 ・地域団体等との連携の取組【P. 84～P. 85】 ・エコキャップ活動の実施【P. 83】 ・スポーツレクリエーションフェスティバルの実施【P. 86】 ・地域貢献の取組【P. 86～P. 88】	・地域還元イベント（三ツ沢合同イベント、スポーツレクリエーションフェスティバル、平体祭）の開催（R4年度～） ・「よこはまウォーキングポイント」の端末リーダーの設置（R4年度～） ・地域の防災、イベントへの協力（R4年度～） ・地域住民の方をアルバイト職員として雇用（R4年度～） ・近隣施設との連携した取組（R4年度～） ・団体としてのインクルーシブスポーツの推進、地域の健康づくり、地域指導者の育成、地域団体等との連携（R4年度～） ・エコキャップ活動の実施（R4年度～） ・スポーツレクリエーションフェスティバルの実施（R4年度～） ・団体としての地域貢献の取組実施（R4年度～）	A	・スポーツレクリエーションフェスティバル、平体祭、三ツ沢公園連携イベント等の地域還元イベントを開催し、盛況のうち終了。 ・「よこはまウォーキングポイント」の端末リーダーを設置し、市民の健康づくりの推進に協力。 ・近隣自治会の行事に協力。施設敷地の一部を貸出。 ・市民のスポーツ振興を担うNP0や団体等の施設利用イベントに協力（FMヨコハマ、横浜中ロータリークラブ、一般社団法人カルティペータ、県ハンドボール協会、他）。	A	数多くの地域還元イベントの開催や地域催事への協力・連携がみられ、地域との密接した関係性を築き、また、地域から愛着を持たれる施設となるような努力が見受けられる。 当初提案や第3期と比較しても、より多くの開催（新たに3イベントを共催等で実施、利用者数約600人増）があり、利用者数も増加しているため評価できる。 提案のあった託児サービスはニーズがなかったため現状行われていないとのことだが、継続してニーズ把握に努めたうえで、提供を検討してもらいたい。	B	冷風扇風機の導入など、利用者アンケートを踏まえ、改善を行うなど適切に対応している。 その他も安定的に取り組んでいる。
自己評価・第三者評価	・事業内容を継続的に改善するためのPDCAマネジメントサイクルを構築【P. 90】 ・セルフモニタリングの実施【P. 91～P. 92】 ・利用者アンケート調査の実施【P. 92】 ・市の第三者評価等への協力【P. 93】	・団体としてのPDCAマネジメントサイクルによる組織的な改善活動の実施（R4年度～） ・団体としての組織的なセルフモニタリングの実施（R4年度～） ・利用者アンケート調査、分析の実施（R4年度～） ・市のモニタリング等への協力（R4年度～） ・第三者評価の実施（R4年度～R8年度）	B	・お客様アンケート等のご意見を積極的に活用し修繕等に反映。 ・ご意見、苦情・要望等を運営に反映。 ・指定管理期間内に第三者評価を実施予定。	B	アンケートをはじめ、ご意見箱やホームページなど、利用者の声を得るための体制の整備に努められていると見受けられる。 施設設備など老朽化にかかるニーズについては、本市と連携のうえ、引き続き対応を進めてもらいたい。		
新型コロナウイルス感染症等への対応	・体調チェック、感染対策、三密を避ける施設運営の徹底【P. 94～P. 95】 ・除菌、消毒を主とした感染拡大防止の取組【P. 96】 ・教室事業等での感染対策の実施【P. 96～P. 97】 ・料金収入減に対する取組【P. 97】 ・with/after コロナの施設運営と事業の取組【P. 98】	・体調チェック、各種感染対策、三密を避ける施設運営の対策検討と実施（R4年度～） ・除菌、消毒を主とした感染拡大防止策の実施（R4年度～） ・教室事業等での感染症対策の検討と実施（R4年度～） ・料金収入減に対する取組【P. 97】 ・団体としてのオンラインレッスン事業の実施、施設運営以外の事業での収入強化策の実施（R4年度～）	B	・営業時間の短縮（基本時間外での営業を自粛 R4年4/1～9/30）。 ・教室、イベント事業の中止または延期（R4年4/1～9/30）。 ・入場定員の制限、除菌、消毒の徹底。	B	本市の要請に基づく制限もあったが、施設の開館にあたっては消毒・換気をはじめ様々な対策を講じるなど、安全・安心して利用いただくための努力がみられた。 今後も感染症等の発生・拡大の際には新型コロナウイルス感染症の経験も活かし、安全・安心な施設の提供を期待したい。		